

阿南市在宅医療・介護連携推進事業 令和2年度市民公開講座の開催

市民の皆さまに在宅医療・介護の実情と今後の展望をお伝えすることを目的に市民公開講座を開催します。

日時 2月28日(日) 13:30~16:00

場所 ロイヤルガーデンホテル2階 サローン

問い合わせ 介護・ながいき課 ☎22-1793

内容 第1部(13:30~14:10)動画ディスカッション

「阿南市における在宅医療・介護連携の展望」

(阿南市医師会、阿南市那賀郡歯科医師会、徳島県薬剤師会、徳島県看護協会、徳島県介護支援専門員協会)

第2部(14:30~16:00)

映画上映「ピア～まちをつなぐもの～」

(在宅医療と介護連携、多職種連携、看取りをテーマとした作品)

※入場無料、申込不要。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、入場者の上限を100人までとさせていただきます。

あなん 文化紀行

第4回

白い弁天島

阿南市文化財保護審議会

委員 松浦 孝さん

昨年の12月に市役所と那賀川図書館で開催された阿南市の文化財写真展に写真制作を担当した。徳島県の文化財巡視員として平成24年4月から8年間、阿南市の文化財26項目を巡視させていただいた感謝とお礼を込め展示する写真データを選んだ。県の巡視計画表には無い、すばらしい阿南市文化財もあり文化振興課から提供された写真を含め26点の写真が完成し展示に協力できた。さて写真選別中に印象に残っていた文化財から付随する話題を書いてみる。



1

写真1は橘湾に浮かぶ周囲120m、標高17mの小島、国指定天然記念物「弁天島熱帯性植物群落」である。平成28年1月に新日本電工(株)構内東の防潮堤から約90m沖の「白い弁天島」を撮影させていただいた。白くなったのは海鵜や白鷺などの鳥約90羽が住み着き繁殖したふん害である。

約1年前から海鳥が増える傾向はあったが平成28年冬がピークとなり、貴重な植物が枯れてしまうのではないかと心配された。しかしこの時期から異常気象による激しい風雨に耐えきれなくなったのか周りの海の魚が減ったのかは分からないが、この年の5月になると鳥はほとんど居なくなり元の静かな弁天島に戻って今日に至っている。

次の写真2は那賀川町宝満寺の市指定文化財「紙本金地著色弘法大師像」絵画である。令和元年この絵を拝観させていただいたが大師の目の美しさと表情に感動した。威圧感が全く無く、凛として涼しく未来を見つめているような人を引き付ける目だった。

写真3は足利将軍家末裔の九代阿波公方足利義根がこの大師像にいたく感動し香木に添え寄贈した

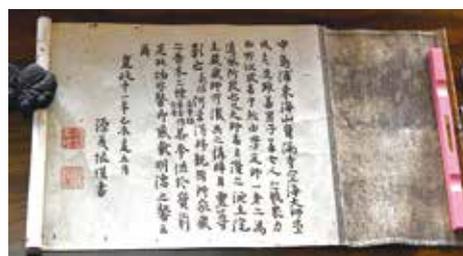


2

古文書である。

義根については『阿南市の先覚者たち』第一集に記載されている。

義根は父義宣の志を受け継ぎ父



3

が招いた島津華山に師事し詩文を学び漢文学に優れた才能を発揮し、多くの文人と交流、当代一流の詩人、文人となった。那賀川町の阿波公方・民俗資料館には義根の漢詩集などの資料が残されている。また平島の住民から慕われ交流があったと思われるマムシ除けの札も公方館に残されているので一度は訪れることをお勧めする。